



2020年10月15日

SOMPOホールディングス株式会社

「SOMPOグループ健康宣言」の制定

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO 執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、SOMPOグループ全体の健康に資する活動を行う上での方針として「SOMPOグループ健康宣言※1」を制定したことをお知らせいたします。

※1 SOMPOグループの中核事業会社である損害保険ジャパン株式会社（以下「損保ジャパン」）、SOMPOひまわり生命保険株式会社（以下「SOMPOひまわり生命」）では、既に「健康宣言」等を制定しています。なお、SOMPOひまわり生命は、健康経営推進強化を目的に、本日付で「健康経営宣言」を改定します。

1. 制定の背景

SOMPOグループの経営理念である「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを実現するためには、その原動力である社員と家族の心と体の「健康」が大切です。グループ人間尊重ポリシーにおいても、社員の健康維持・増進に取り組み、活力ある労働環境を確保することを掲げています。SOMPOグループでは、これらの経営理念・方針に基づき、社員の健康維持・増進を経営の重要なテーマの一つと位置づけ、健康経営®※2に取り組みんでいます。

この度、SOMPOグループ全体で健康経営の推進をさらに強化すべく、「SOMPOグループ健康宣言」を制定しました。健康経営に取り組む3つの意義（①グループ経営理念の体現、②生産性向上、③企業価値の向上）を組み込んだグループ共通の方針を、SOMPOグループ内外に発信することにより、健康経営のさらなる推進を図ります。

※2 健康経営®は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

2. SOMPOグループ健康宣言

SOMPOグループは、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」するために、社員とその家族の心と体の健康を大切にします。

- 当事者意識を尊重し、社員一人ひとりのミッションや働き方に応じた主体的な健康活動を支援します。
- 多様な才能や強みを表現できる場を用意し、健康的で能力を発揮しやすい環境により、個人そして組織の生産性向上を図ります。
- 社員の働きがいの向上や新たなイノベーションの創出により、今よりも健康で元気な社会の実現に貢献します。

<概説>

- ・グループ経営理念を体現するために、SOMPOグループの社員とその家族の心身の健康管理を経営課題として認識する旨を明示しました。
- ・SOMPOグループにおいて健康経営に取り組む3つの意義を組み込み、また、SOMPOグループの「目指す人材集団」における3つのコア・バリュー^{※3}を、健康経営の観点から取り込んでいます。

※3 「目指す人材集団」における3つのコア・バリュー：①ミッション・ドリブン（使命感とやりがいを感じ、高いエンゲージメントの状態働く）、②プロフェッショナリズム（高い専門性に基づき、自律的に考え、行動する）、③ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の重要性を理解し、それを新たな価値創造に結びつける）

3. 今後について

ウィズ・コロナの世界において社会のリモート化が定着するなか、感染予防を目的としたリモートワークから、新しい生活様式下での生産性向上を目的としたリモートワークへのシフトが進んでいます。このような状況のなか、SOMPOグループは、持続的成長につながる「社員の幸福度・やりがいの向上」および「生産性の向上」を目的とした働き方改革に取り組んでいます。これらの目的達成のため、働き方改革の取組みとも連動させながら、健康経営のさらなる推進を図っていきます。

また、今後もSOMPOグループ傘下であるSOMPOヘルスサポート株式会社（以下「SOMPOヘルスサポート」）が提供する「健康経営推進支援サービス」を活用し、健康保険組合とも連携しながら取組みの継続的な効果を社内外に発信していくとともに、効果検証や見直しを通じて、SOMPOグループ各社やお客さまへの健康経営普及拡大を図っていきます。

以上

<参考資料>

- ・「健康経営銘柄」への選定（2年連続）

SOMPOホールディングスは、健康経営に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に2年連続（2019年、2020年）選定されました。あわせてSOMPOグループの12社が、経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2020 大規模法人部門」に認定され、そのうち8社が「健康経営優良法人2020大規模法人部門（ホワイト500）」に認定されました。



SOMPOグループ全体における健康経営の主な取り組み

<p>① 社員の健康維持・増進の取り組み</p>	<p>社員一人ひとりの健康維持・増進を実現するため、社員の健康状態に合わせた取り組みを実施しています。損保ジャパンでは、過去の健診結果から「血糖値」に着目し、「私たちの健康レポート」で社員の健康状態を統計データ化したうえで広く共有し、「めざせ！優糖生」のキャッチフレーズで改善活動を展開しています。SOMPOひまわり生命では、2019年4月から社内禁煙の取り組みをより一層強化し、全社員就業時間内禁煙を導入するとともに2020年4月入社対象の新卒採用募集要項に、「入社時点で非喫煙者であること」を明記しています。</p>
<p>② 活力ある労働環境確保の取り組み</p>	<p>SOMPOグループでは、活力ある労働環境を確保することが社員の心身の健康維持や生産性向上、ひいては企業の持続的な成長につながると考えており、グループ各社において労働時間の適正化やテレワーク、シフト勤務、年次有給休暇取得の促進などの多様な働き方の実現に取り組んでいます。損保ジャパンは、社員の意識調査を定期的実施し、社員のやりがい向上や組織の活性化につなげています。</p>
<p>③ データヘルスの取り組み</p>	<p>ヘルスケア事業を展開するSOMPOヘルスサポートの健康データ分析ノウハウを活用し、健康保険組合とも連携しながら、データヘルスに取り組んでいます。損保ジャパンは、社員の健康診断やストレスチェックの結果、生活習慣などのデータを蓄積しており、労働時間やプレゼンティーズム（心身の健康状態による生産性低下がもたらす損失）との関係性について分析を進めています。また、SOMPOひまわり生命では、全社員を対象に無償貸与しているウェアラブル端末から収集した健康状態のデータと健康診断結果やレセプトデータで分析を進めており、データヘルスの進化に取り組んでいます。</p>